

年間授業計画

高等学校 令和7年度（ 1 学年用） 教科 農業 科目 栽培と環境

教 科 : 農 業 科 目 : 栽培と環境 単位数 : 2 単 位

対象学年組：第 1 学年 H1 組～ H2 組

教科担当者：（H1組：水上・福重・片柳）（H2組：水上・福重・片柳）

使用教科書：（栽培と環境 実教出版）

教科 農業 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 栽培と環境	の目標：
【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】
栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】	栽培と環境について農業生物の栽培や管理に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A単元「栽培植物の発育・生理と栽培技術」 【知識及び技能】 栽培植物の発育・生理と栽培技術について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 栽培植物の発育・生理と栽培技術に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 栽培植物の発育・生理と栽培技術の情報や技術の収集について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①作物の種類と特徴 ②作物の一生 ③播種と土壌実験 ④作物の発育と成長の調節 ⑤育苗と肥料実験 ⑥作物体内の生理作用 ⑦作物の成熟と老化 ⑧栽培技術 【教材】 ①実教出版「栽培と環境」 ②タブレットを活用。	【知識・技術】 ①本時の学びについて理解している（レポート、課題、考査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①わかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③まとめた結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①積極的に実習に参加している。（観察） ②課題について関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	14
	B単元「プロジェクト学習」 【知識及び技能】 プロジェクト学習について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 情報や技術の収集について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①プロジェクト学習の意義 ②プロジェクト学習の進め方 ③診断・実験の実施にあたって ④発育と生理の診断・実験 ⑤～⑨オクラ栽培を通した、プロジェクト学習 【教材】 ①実教出版「栽培と環境」 ②タブレットを活用。	【知識・技術】 ①本時の学びについて理解している（レポート、課題、考査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①わかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③まとめた結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①積極的に実習に参加している。（観察） ②課題について関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	14
	定期考査						1

2 学 期	A単元「栽培環境」 【知識及び技能】 栽培環境について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 栽培環境に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 栽培環境の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①土壌の役割 ②土壌の機能 ③土壌中の窒素動態 ④土壌肥沃度の管理 ⑤土壌の管理と改良 ⑥農地の生物群集 ⑦害虫害と病害その防除 ⑧雑草害・鳥獣害とその防除 ⑨農薬とその使用方法 ⑩総合的有害生物管理 【教材】 ①実教出版「栽培と環境」 ②タブレットを活用。	【知識・技術】 ①本時の学びについて理解している（レポート、課題、考査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①わかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③まとめた結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①積極的に実習に参加している。（観察） ②課題について関心を持ち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	14
	「葉菜類の栽培①」 【知識及び技能】 葉菜類の栽培について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 葉菜類の栽培に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 葉菜類の栽培の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	①葉菜類の栽培 ②ソーラージャエリング ③IoT機器の活用 ④露地栽培と人口土壌栽培 ⑤プロジェクト課題設定 ⑥プロジェクト学習 ⑦プロジェクト学習 ⑧プロジェクト学習 ⑨プロジェクト学習 ⑩プロジェクト学習	【知識・技能】 ①プロジェクト学習の意義を理解している。（レポート） ②プロジェクト学習の進め方を理解している。（レポート） ③実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ④実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ⑤各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①プロジェクト学習の栽培記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（ワークシート・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①プロジェクト学習に関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察） ②プロジェクト学習に関心を持ち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。（レポート） ③プロジェクト学習に関心を持ち、栽培記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	14
	定期考査						1
3 学 期	「葉菜類の栽培②」 【知識及び技能】 葉菜類の栽培について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 葉菜類の栽培に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 葉菜類の栽培の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①～②プロジェクト学習評価・反省 ③～④プロジェクト課題再設定 ⑤～⑥プロジェクト学習計画 【教材】 ①実教出版「栽培と環境」 ②タブレットを活用し、繁殖手順、育苗等の記録する。	【知識・技能】 ①プロジェクト学習の意義を理解している。（レポート） ②プロジェクト学習の進め方を理解している。（レポート） ③実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ④実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ⑤各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①プロジェクト学習の栽培記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（ワークシート・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①プロジェクト学習に関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察） ②プロジェクト学習に関心を持ち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。（レポート） ③プロジェクト学習に関心を持ち、栽培記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	14
	定期考査						1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 果樹

教 科： 農業 科 目： 果樹 単位数： 2 単 位

対象学年組：第 2 学年 H1 組～ H2 組

教科担当者：（H1組：福重・七日市・河島） （H2組：福重・七日市・河島）

使用教科書：（果樹 実教出版 農業717 ）

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 果樹の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けること。

【思考力、判断力、表現力等】 果樹の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。

【学びに向かう力、人間性等】 果樹の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むこと。

科目 果樹 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
果樹について生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	果樹の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	果樹の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 果樹栽培の春夏管理 【知識及び技術】 春夏果樹の特性を理解し、栽培管理の知識と技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 果樹の春夏に関する栽培管理について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 果樹の春夏栽培における情報や技術の収集につて、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①着花の特徴と摘花 ②摘果の方法と役割 ③夏枝の剪定と誘引 【教材】 ①実教出版「果樹」 ②タブレットを活用する。	【知識・技術】 ①各果樹の特性と栽培管理を理解している（レポート、課題、考査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①果樹の栽培管理について、その特性を理解し、各果樹の管理の方法について、わかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②果樹の栽培管理における課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①果樹栽培に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②果樹栽培に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③果樹栽培に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	23
	定期考査						1

2 学期	「果樹栽培の秋の管理」 【知識及び技能】 果樹の秋の栽培管理について理解するとともに、管理・調査する知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 果樹の秋管理に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 果樹の秋管理について情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①施肥管理 ②害虫防除 【教材】 ①実教出版「果樹」 ②タブレットを活用する。	【知識・技術】 ①果樹の生育にあった施肥の方法と効果について理解している（レポート、課題、考査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①秋の栽培管理について特性をわかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②秋の栽培管理の課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①秋の栽培管理の方法について関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察） ②秋の栽培管理の方法について関心を持ち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③秋の栽培管理の方法について関心を持ち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	23
	定期考査						1
3 学期	【知識及び技能】 果樹の冬季管理について理解するとともに、管理手法についての知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 果樹の冬季管理方法について記録をまとめ、冬季の栽培管理の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 年間を通じての栽培管理について情報や技術を収集データ化し、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①プロジェクト学習課題設定 ②プロジェクト学習課題解決 ③プロジェクト発表 【教材】 ①実教出版「果樹」 ②タブレットを活用する。	【知識・技能】 ①プロジェクト学習の意義を理解している。（レポート・課題） ②プロジェクト学習の進め方を理解している。（レポート・課題） ③各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①プロジェクト学習の調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①プロジェクト学習に関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察） ②プロジェクト学習に関心を持ち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。（レポート・課題） ③プロジェクト学習に関心を持ち、調査記録をタブレットを活用して記録している。（レポート・課題）	○	○	○	21
	定期考査						1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（ 3学年用） 教科 農業 科目 園芸デザイン

教科： 農業 科目： 園芸デザイン 単位数： 3 単位
対象学年組：第 3 学年 H1 組～ H2 組
教科担当者：（H1組： 水上 （H2組： 水上
使用教科書：（
教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】園芸デザインについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】園芸デザインに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 園芸デザイン の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①園芸デザインの意義・役割を理解している（レポート、課題、考査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査）	①園芸デザインの意義・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②園芸デザインの課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題）	①園芸デザインに関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察） ②園芸デザインに関心を持ち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③園芸デザインに関心を持ち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技術】 園芸デザインの意義と役割について理解するとともに、知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 園芸デザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 園芸デザインの情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 実技 アレンジメントの基本形 ワイヤリングの基本と応用 講義 ①フラワーデザインの分類 ②挿し方による表現方法 ③花の造形	【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②テーマに合ったデザインをすることができる。（観察） ③フラワー装飾の活用方法や意味を説明することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①花材の管理方法を説明することができる。（レポート） ②フラワー装飾の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①フラワー装飾及びその管理に関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察） ②フラワー装飾及び花材管理に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1
2 学期	【知識及び技能】 フラワー装飾について理解するとともに、フラワー装飾技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 フラワー装飾に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 フラワー装飾の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 実技 アレンジメントの応用 束の基本形 ③季節のアレンジメント 講義 ①植物の形状による分類 ②印象的・能動的による分類 ③行事と花の関係性	【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②テーマに合ったデザインをすることができる（観察） ③ワイヤリング方法について説明できる（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①植物に合わせたワイヤリング方法について説明できる（レポート） ②フラワー装飾の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①フラワー装飾に関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察） ②フラワー装飾に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1

3 学 期	園芸デザイン分野 【知識及び技能】 フラワー装飾について理解するとともに、フラワー装飾技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 フラワー装飾に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 フラワー装飾の情報や技術の収集につて自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 実技 ブーケ ②プリザーブドフラワーのアレンジメント 講義 ①生花以外の花材の種類と活用	① 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②テーマに合ったデザインをすることができる（観察） ③ワイヤリング方法について説明できる（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①植物に合わせたワイヤリング方法について説明できる（レポート） ②フラワー装飾の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①フラワー装飾に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②フラワー装飾に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1
							合計 105

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 総合実習A

教科：農業 科目：総合実習A 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 H1組～ H2組

教科担当者：(H1組：片岡・水上・七日市) (H2組：片岡・水上・七日市)

使用教科書：（実教出版：植物バイオテクノロジー）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	造園分野 【知識及び技能】 造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	造園分野 【指導事項】 ①講義：草本と木本の違い。実習：植栽地の除草、ササ、ドウダンツツジの刈込み。 ②講義：開花期と花芽分化期。実習：植栽地の除草、サツキツツジの刈込み。 ③講義：樹木の実用上の分類。実習：校内樹木採集、分類。 【教材】 ①タプレツを活用し、造園緑化材料の記録する。	造園分野 【知識・技能】 ①実験場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察） ③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②造園樹木を分類することができる。（観察、ワークシート） ③校内樹木の役割、効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	8
	園芸デザイン分野 【知識及び技能】 フラワー装飾について理解するとともに、フラワー装飾技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 フラワー装飾に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 フラワー装飾の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	園芸デザイン分野 【指導事項】 ①講義：色の組み合わせ(色の見え方に關して) 実習：ガーベラの花束(ラッピングペーパーとリボンの組み合わせ) ②講義：色の組み合わせ(色相環に關して) 実習：学校に植栽されている花材を用いて色相環アレンジづくり ③講義：アレンジメントの活用と制作方法(アレンジメントの基本) 実習：ドーム型アレンジメント	園芸デザイン分野 【知識・技能】 ①実験場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②テーマに合ったデザインをすることができる。（観察） ③フラワー装飾の活用方法や意味を説明することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①花材の管理方法を説明することができる。（レポート） ②フラワー装飾の役割、効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①フラワー装飾及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②フラワー装飾及び花材管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	8
	植物バイオテクノロジー分野 【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて理解するとともに、サギソウの無菌播種技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーの情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	植物バイオテクノロジー分野 【指導事項】 ①講義：実験器具の名称と使い方の実験：培地づくり ②講義：サギソウの無菌播種法について 実験：サギソウの無菌播種 ③講義：花卉培養について 実験：キクの花弁培養用培地づくり	植物バイオテクノロジー分野 【知識・技能】 ①実験場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②種子を無菌的に培養土に播種できる（観察） ③レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①実験器具の使用方法和使用上の注意点について説明できる。（レポート） ②植物バイオテクノロジーの役割、効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①植物バイオテクノロジーに関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②植物バイオテクノロジーに関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	8
	定期考査			○	○		4

2 学 期	造園分野 【知識及び技能】 造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	造園分野 【指導事項】 ①講義：芝生の特性、役割・効果、地被植物の特性。実習：芝生管理。 ②講義：老化現象、紅葉の仕組みについて。実習：庭園管理、樹木観察。 ③講義：樹木の萌芽力。実習：庭園管理。 【教材】 ①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。	造園分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（道具・レポート） ②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察） ③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、説明することができる。（レポート） ②各樹木の紅葉について説明することができる。（観察、ワークシート） ③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考査し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①造園緑化材料及びその管理に関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察） ②造園緑化材料及びその管理に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	8
	園芸デザイン分野 【知識及び技能】 フラワー装飾について理解するとともに、フラワー装飾技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 フラワー装飾に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 フラワー装飾の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	園芸デザイン分野 【指導事項】 ①講義：アレンジメントの活用と制作方法 実習：トライアンギュラー ②講義：アレンジメントの活用と制作方法 実習：ホリゾンタル ③講義：様々なワイヤリング方法 実習：テーピング、ルーブリボン	園芸デザイン分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（道具・レポート） ②テーマに合ったデザインをすることができる（観察） ③ワイヤリング方法について説明できる（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①植物に合わせたワイヤリング方法について説明できる（レポート） ②フラワー装飾の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考査し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①フラワー装飾に関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察） ②フラワー装飾に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	8
	植物バイオテクノロジー分野 【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて理解するとともに、サギゾクの無菌播種技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーの情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	植物バイオテクノロジー分野 【指導事項】 ①講義：植物ホルモンについて 実験：キクの花弁培養 培地づくり ②講義：植物ホルモンの活用について 実験：キクの花弁培養本番 ③講義：カルスについて 実験：キクの花弁培養経過観察	植物バイオテクノロジー分野 【知識・技能】 ①実験場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（道具・レポート） ②植物ホルモンを適量使用することができる。（観察） ③レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①植物ホルモンの使用方法と使用上の注意点について説明できる。（レポート） ②植物バイオテクノロジーの役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考査し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①植物バイオテクノロジーに関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察） ②植物バイオテクノロジーに関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

3 学 期	造園分野 【知識及び技能】 造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	造園分野 【指導事項】 ①講義：樹木の剪定方法①。実習：庭園管理。 ②講義：樹木の剪定方法②。実習：庭園管理。 【教材】 ①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。	造園分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察） ③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②校内の植栽を評価することができる。（観察、ワークシート） ③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考査し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	6
	園芸デザイン分野 【知識及び技能】 フラワー装飾について理解するとともに、フラワー装飾技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 フラワー装飾に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 フラワー装飾の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	園芸デザイン分野 【指導事項】 ①講義：様々なワイヤリングの方法実習：ブートニア ②講義：様々なワイヤリングの方法実習：コサージュ① ③講義：様々なワイヤリング方法実習：コサージュ②	園芸デザイン分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②テーマに合ったデザインをすることができる（観察） ③ワイヤリング方法について説明できる（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①植物に合わせたワイヤリング方法について説明できる（レポート） ②フラワー装飾の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考査し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①フラワー装飾に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②フラワー装飾に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	6
	植物バイオテクノロジー分野 【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて理解するとともに、サギソウの無菌播種技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーの情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	植物バイオテクノロジー分野 【指導事項】 ①講義：茎頂培養について 実地実験：アスバラガスの茎頂培養 培地づくり ②講義：茎頂培養について ②講義：アスバラガスの茎頂培養 実地実験：アスバラガスの茎頂培養 茎頂取り出し、置床 ③茎頂培養経過観察	植物バイオテクノロジー分野 【知識・技能】 ①実験場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②茎頂を適切にとりだすことができる。（観察） ③レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①植物ホルモンの使用方法と使用上の注意について説明できる。（レポート） ②植物バイオテクノロジーの役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考査し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①植物バイオテクノロジーに関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②植物バイオテクノロジーに関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 農業 科目 総合実習 A

教 科： 農業 科 目： 総合実習 A 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 H1 組 H2 組 組 組

教科担当者：（ H1 組： 片岡せりな、山口優吾、相馬寛子 ）
（ H2 組： 片岡せりな、山口優吾、福重麻紀 ）
（ 0 組： ）
（ 0 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習 A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	造園分野 単元「造園緑化材料①」 【知識及び技能】 造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	造園分野 【指導事項】 ①講義：草本と木本の違い。実習：植栽地の除草、ササ、ドウダンツツジの刈込み。 ②講義：開花期と花芽分化期。実習：植栽地の除草、サツキツツジの刈込み。 ③講義：樹木の実用上の分類。実習：校内樹木採集、分類。 【教材】 ①タブレットを活用し、剪定前後の様子を記録し、その後の変化を見ていく。	造園分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察） ③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②造園樹木を分類することができる。（観察、ワークシート） ③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	8
	果樹分野 単元「果樹の栽培管理①」 【知識及び技能】 果樹について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 果樹に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 果樹の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	果樹分野 【指導事項】 ①講義：果樹の種類の違い。実習：農具の扱い方と除草。 ②講義：果樹の仕立て方と整枝。実習：摘花。 ③講義：果樹の枝の特徴。実習：果樹採集、分類。 【教材】 ①タブレットを活用し、成長の記録をする。	果樹分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②果樹に合った道具を使用することができる。（観察） ③果樹の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①果樹の管理方法を説明することができる。（レポート） ②果樹を分類することができる。（観察、ワークシート） ③果樹の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①果樹の管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②果樹の管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	8
	草花分野 単元「花壇材料①」 【知識及び技能】 花壇材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 花壇材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 花壇材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	草花分野 【指導事項】 ①花壇材料の栽培「播種」 ②花壇材料の栽培「鉢上げ」 ③花壇材料の栽培「鉢替え」・講義：「草花の分類」 【教材】 ①タブレットを活用し、栽培課程の記録をする。	草花分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②基本的な栽培技術を理解することができる。 ③草花の草姿・葉・花から植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①花壇材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②花壇材料を分類することができる。（観察、ワークシート） ③花壇の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	8
	定期考査			○			1

2 学 期	造園分野 単元「造園緑化材料②」 【知識及び技能】 造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	造園分野 【指導事項】 ①講義：芝生の特性、役割・効果。地被植物の特性。実習：芝生管理。 ②講義：老化現象、紅葉の仕組みについて。実習：庭園管理、樹木観察 ③講義：樹木の萌芽力。実習：庭園管理。 【教材】 ①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。	造園分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察） ③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②各樹木の紅葉について説明することができる。（観察、ワークシート） ③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	8
	果樹分野 単元「果樹の栽培管理②」 【知識及び技能】 果樹について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 果樹に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 果樹の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	果樹分野 【指導事項】 ①講義：果樹の収穫方法。実習：収穫方法と調整。 ②講義：果樹の病害虫防除。実習：除草、バンド誘殺、粗皮削り。 ③講義：果樹の枝の特徴。GAPの取り組み。実習：分類。 【教材】 ①タブレットを活用し、成長の記録をする。	果樹分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具を使用することができる。道具の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②果樹に合った剪定ができる。（観察） ③果樹の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①果樹の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②果樹を分類することができる。（観察、ワークシート） ③果樹の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①果樹の管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②果樹の管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	8
	草花分野 単元「花壇材料②」 【知識及び技能】 花壇材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 花壇材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 花壇材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている	草花分野 【指導事項】 ①講義：花壇の特性、役割・効果。 ②講義：花壇の維持管理。実習：花壇管理（除草、枯草取り除き） ③実習：花壇植栽 【教材】 ①タブレットを活用し、花壇植栽の記録をする。	草花分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②草花に合った栽培管理をすることができる。（観察） ③草花を見て植物名、科名を分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①花壇材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②花壇材料の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	10
	定期考査			○			1

	造園分野 単元「造園緑化材料③」 【知識及び技能】 造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	造園分野 【指導事項】 ①講義：樹木の剪定方法①。実習：庭園管理。 ②講義：樹木の剪定方法②。実習：庭園管理。 ③講義：植栽の評価。実習：庭園管理。 【教材】 ①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。	造園分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察） ③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②校内の植栽を評価することができる。（観察、ワークシート） ③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	6
3 学 期	果樹分野 単元「果樹の栽培管理③」 【知識及び技能】 果樹について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 果樹に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 果樹の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	果樹分野 【指導事項】 ①講義：果樹の選定方法。実習：剪定。 ②講義：果樹の施肥。実習：施肥。 ③講義：果樹の枝の特徴。実習：分類。 【教材】 ①タブレットを活用し、成長の記録をする。	果樹分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具を使用することができる。道具の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②果樹に合った剪定ができる。（観察） ③果樹の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①果樹の管理方法を説明することができる。（レポート） ②果樹を分類することができる。（観察、ワークシート） ③果樹の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①果樹の管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②果樹の管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	6
	草花分野 単元「花壇材料③」 【知識及び技能】 花壇材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 花壇材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 花壇材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	草花分野 【指導事項】 ①講義：冬花壇作製 ②講義：冬花壇の管理 ③講義：植栽の評価 ④実習：冬花壇作製 ⑤実習：花壇管理 ⑥実習：春花壇作製 【教材】 ①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。	草花分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②草花に合った栽培管理をすることができる。（観察） ③草花を見て植物名、科名を分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①花壇材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②花壇材料の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	6
	定期考査			○			1 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

農業 科目 課題研究

教科： 農業

科目： 課題研究

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 H1 組 H2 組 組 組

教科担当者：（ H1 組： 遠藤 和彦 ）

（ H2 組： 蓮沼 実知 ）

（ 0 組： ）

（ 0 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 農業 の目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活躍し、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ強力的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業に関わる課題解決的な学習の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。	農業と自己との関わりから問を見出し、課題を立て、その解決に向け、取得した情報を基に考察する力を身に付けるとともに、考察したことを根拠を明らかにしてまとめ、表現する力を身に付ける。	課題解決的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、次図から社会に参画・貢献しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	資格の取得 ○資格取得に向けての動機づけ。 ○自らの知識の到達度を確認し、どのように学習を進めていくか見直しを行う。 ・植物の生長 ・栽培に関わる環境要素 ・栽培・飼育作業の基礎 ・日本の農業について ・農業・農村の多面的機能 ・農業に関する法律 ・農産物の流通 ・人と環境の関わり・地球環境による環境問題 ・農業における環境問題・資源の有効利用 ・食品の基礎知識・地域の食材 ・食の安全 ・食生活と栄養 ・学習内容の定着度を確認する。 ・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。	過去問題の解説 ・栽培・飼育分野 ・主な作物の栽培例 ・農業全般の分野 ・環境分野 ・食分野	【知】6割以上の正答率。 【態】自分の達成度を点検し、自分にあった学習方法を調節できる。	○		○	10
	定期考査	期末考査		○			1

2	・課題研究とは何か。 ・目的実施要綱 ・課題研究の進め方 ・進める上での注意点 ・学習内容の定着度を確認する。 ・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に着けさせる。	・課題研究の進め方について ・葉菜類を題材に班単位で課題を設定し実施する。 ・実験・実習の結果から視覚的な表現方法を身に付ける。	【知】課題研究の一連の流れを理解できたか。研究に用いられる手法を先行研究などから習得することができたか。 【態】農業に関心を持ち、課題を解決しようと意欲的に取り組んでいるか。 【思】実験・実習を通じて、課題の設定による検証や結果に対しての考察がしっかる実施できたか。	○	○	○	12
	定期考査						
3	・発表方法について ・個人の研究の進め方 ・実験方法 ・研究の年間計画	・課題研究の課題の設定	【知】課題研究の一連の流れを理解できたか。研究に用いられる手法を先行研究などから習得することができたか。 【思】リサーチクエスション、仮説設定、仮説検証等、科学的に矛盾のない研究計画になっているか。先行研究を調べて上で、新規性のあるテーマになっているか。 【態】農業に関心を持ち、課題を解決しようと意欲的に取り組んでいるか。	○	○	○	11
	定期考査						1
							合計
							35

高等学校 令和7年度（ 学年用） 教科 農業 科目 造園施工管理

教科： 農業 科目： 造園施工管理 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 H1 組～ H2 組

教科担当者： （H1組：池上 （H2組：池上

使用教科書： （ 造園施工管理 ）

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

科目 造園施工管理 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造園：造園（造園施工管理）について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 盆栽：日本の伝統文化である盆栽について理解を深めると共に、管理知識などを身に付ける。	造園：造園（造園施工管理）に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 盆栽：日本特有の盆栽の管理作業を通して盆栽の伝統を慮り、主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付ける。	造園：造園（造園施工管理）について施工・管理に応用できるよう自ら学び、緑地環境の向上や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。 盆栽：日本の伝統文化である盆栽の管理や発展に携わる者として様々な場面において、適切な思考判断できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	造園単元「造園施工管理の意義と役割」「造園土木施工」「施設施工管理」 【知識及び技術】 環境緑化材料の特色と役割について理解するとともに、植栽管理知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 環境緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 環境緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 1 社会環境と造園施工管理 ①日本庭園の伝統②西洋庭園の影響③現代造園の展開④造園施工管理の現状と課題 2 造園施工管理の意義 ①造園施工管理の基本的な考え②造園施工管理の重要性 3 造園施工管理の特色と役割 ①造園施工管理の特色②造園施工管理の役割 4 造園空間の新たな管理手法 ①協働による管理手法②グリーンインフラとしての活用 5 敷地造成と土壌改良 ①敷地の調査と造成計画②切土と盛土の施工方法③敷地の造成と植栽土壌④植栽基盤の改良 6 コンクリート工 ①コンクリート工の特性②コンクリートの配合③コンクリートの施工 7 園路・広場工 ①園路・広場の種類②園路の勾配③歩道・広場④舗装工 8 庭園施設工	【知識・技術】 ①緑化材料の特色・役割を理解している（レポート、課題、考査） ②実習場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①緑化材料の特色・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②環境緑化材料の課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①環境緑化材料に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②環境緑化材料に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③環境緑化材料に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	45
	定期考査			○	○		1

2 学 期	造園單元「施設施工管理」 【知識及び技能】 植物材料について理解するとともに、管理・調査する知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 植物材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 植物材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 9庭園施設工 ①石の施工②敷石工③石積み工 10景観の管理 ①庭園と都市公園の景観管理②保全緑地・自然公園の植生景観管理③植栽の基本 11庭園施設工 ①垣の施工②垣の種類・用途③建仁寺垣の施工	【知識・技術】 ①植物材料の特色・役割を理解している（レポート、課題、考查） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考查） 【思考・判断・表現】 ①植物材料の特色・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考查） ②植物材料の課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①植物材料に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②植物材料に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③植物材料に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	42
	定期考查			○	○		1
3 学 期	造園單元「施設施工管理」「合理的な施工と管理」 【知識及び技能】 環境緑化材料について理解するとともに、調査する知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 環境緑化材料の調査記録をまとめ、日本庭園に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本庭園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 12庭園施設工 ①垣の施工②垣の種類・用途③建仁寺垣の施工 13工程管理 ①工程管理の目的②工程管理の方法 2品質管理 ①品質管理の目的②品質管理の方法 3安全管理 ①安全管理の目的②安全管理の方法	【知識・技能】 ①プロジェクト学習の意義を理解している。（レポート・課題） ②プロジェクト学習の進め方を理解している。（レポート・課題） ③各指導事項の内容を理解している。（考查） 【思考・判断・表現】 ①プロジェクト学習の調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①プロジェクト学習に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②プロジェクト学習に関心をもち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。（レポート・課題） ③プロジェクト学習に関心をもち、調査記録をタブレットを活用して記録している。（レポート・課題）	○	○	○	15
	定期考查			○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和7年度（3学年用）教科 農業 科目 フラワーアレンジ

教科： 農業 科目： フラワーアレンジ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H1 組～ A 組

教科担当者： 蓮沼、高野

使用教科書：（ なし ）

教科 農業 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けること。
- 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むこと。

科目 フラワーアレンジ の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
フラワーデザインについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識と技術を身に付けること。	フラワーアレンジメントや農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。	フラワーデザインについて生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学ぶこと。農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技術】 ・草花の種類（園芸的分類）季節や作品の目的を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・草花の種類と性質・用途について工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フラワーデザインにおける基礎的な知識と技術を自ら身に付けようとしている。	【指導事項】 ①身近な花材を使ったアレンジ ②校内の花材を使ったアレンジ ③校内の植物を使った押し花の作成 【教材】 校内の植物	【知識及び技術】 フラワーアレンジメントの作成 【思考力、判断力、表現力】 実習レポート 【学びに向かう力、人間性等】 授業への取り組み、課題の提出状況	○	○	○	28
2 学 期	【知識及び技術】 ・飾る場所・渡す相手のことを考えた作品を表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・草花の種類による色の違いについて考え工夫して実践することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フラワーデザインの生産と利用方法について自ら学び、課題を発見しようとしている。	【指導事項】 ①秋の身近な花材・植物を使ったアレンジ ②秋の校内の花材・植物を使ったアレンジ 【教材】 校内植物	【知識及び技術】 フラワーアレンジメントの作成 【思考力、判断力、表現力等】 実習レポート 【学びに向かう力、人間性等】 授業への取り組み、課題の提出状況	○	○	○	28
3 学 期	【知識及び技術】 ・これまでに学んだ草花の特徴や技術を活かし、場面や目的に応じた作品を計画的に制作することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の表現したいテーマや意図を明確にし、それをフラワーアレンジメントに反映させることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の作品や意見を尊重しながら、自身の表現力や協働性を高めようとする姿勢を身に付けている。	【指導事項】 ①冬の身近な花材・植物を使ったアレンジ ②冬の校内の花材・植物を使ったアレンジ 【教材】 校内植物	【知識及び技術】 ブリザーブドフラワーの作成 【思考力、判断力、表現力等】 実習レポート 【学びに向かう力、人間性等】 授業への取り組み、課題の提出状況	○	○	○	14
							合計
							70

高等学校 令和7年度（ 2学年用） 教科 農業 科目 野菜

教 科： 農業 科 目： 野菜 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 H1 組～ H2 組

教科担当者：（H1組：蓮沼、七日市、常盤 ） （H2組：蓮沼、七日市、常盤 ）

使用教科書：（ 農業311「野菜」実教出版 ）

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ強力的に取り組む態度を養う。

科目 野菜 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	「野菜生産の役割と動向」 【知識及び技術】 ・野菜の栽培が社会・経済・健康に与える役割や意義について理解し、国内外の野菜生産の現状と動向を説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・野菜生産の課題や消費の傾向を多面的に捉え、自分の考えを資料などをもとに整理し発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な野菜と地域農業のつながりに関心を持ち、持続可能な農業や食生活について主体的に考えようとする姿勢を身に付けている。	① 野菜生産の社会的役割 ・野菜が果たす栄養的・文化的・経済的な役割の理解 ・食生活における野菜の重要性と多様な利用形態 ② 日本の野菜生産の現状 ・日本国内における主要野菜 ・主要産地の気候・地理的特徴との関連性 ③ 輸入野菜と国内農業の関係口 ・輸入野菜の種類と背景（コスト、生産体制など） ・国産野菜の強みと課題（品質、安全性、価格競争） ・グローバル化と食料自給率の視点からの考察 ④ 地域農業と野菜生産 ・地域の気候・文化と品目の選定の関係性 ・実習で栽培している野菜と地域性とのつながりを考察	【知識及び技術】 ・野菜生産が果たす社会的・経済的・健康的役割についての基本的な知識を習得している。 ・統計資料や教科書の内容をもとに、国内外の野菜生産の現状や動向を正確に説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・与えられた資料やデータをもとに、野菜生産に関わる課題や動向を分析し、自分の考えを筋道立てて表現できる。 ・フードシステムや消費傾向に対して、多面的に考察し、簡単なレポートや発表にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域の農業や食との関わりを自分ごととして捉え、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・グループ活動や発表において、他者の意見を尊重し、主体的に関わる姿勢が見られる。	○	○	○	25
	「果実を利用する野菜の栽培」 【知識及び技術】 ・果菜類の特性や栽培環境、整枝・誘引・摘心などの基本的な栽培管理技術を理解し、適切に実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生育状況や気象条件に応じて、栽培管理の方法を自ら判断し、記録や観察結果をもとに生育の課題を考察・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日々の観察や栽培管理に継続して取り組み、作物や自然に対する責任感や協働性をもって実習に参加している。	① ナス科果実的野菜の特徴と分類 ・果実的野菜とは何か、その定義と利用部位（可食部） ・ナス科の特徴（自家受粉・高温好適・病害共通点など） ② 各品目の栽培特性の理解 ・トマト：乾燥気味・高温を好む、裂果や尻腐れの対策が必要 ・ナス：水分要求が高く、多肥栽培に適する、連続収穫型 ・ピーマン：耐暑性があり、省力栽培にも適する ③ 品種の選定と育苗管理 ・トマト（大玉・中玉・ミニ）、ナス（千両2号、黒陽など）、ピーマン（京みどり、ニューエースなど） ・接ぎ木苗と実生苗の違いと活用 ④ 定植後の栽培管理技術 ・支柱立て、整枝（1本仕立て、2本仕立てなど）の技術 ・摘芯・摘花・摘果の目的と方法（品目ごとに異なる） ・灌水・施肥管理（追肥のタイミングと量）	【知識及び技術】 ・果菜類の特徴（根の浅さ、日照の必要性など）を理解している。 ・整枝・誘引・摘心・追肥・灌水などの基本管理を正しい手順で実施できる。 ・病害虫や生理障害の初期症状を識別し、対処方法を説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・観察記録を通じて生育の変化を捉え、原因と対応を考察して記述できる。 ・高温・乾燥・病害虫発生など、環境変化に応じた対応を自ら判断できる。 ・生育調査や収穫データをもとに、改善点や次回への提案を考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・継続的に栽培管理に取り組み、天候や栽培状況に合わせて責任をもって行動している。 ・実習中、協力的な姿勢で作業分担や声かけを行い、チームとして活動できている。 ・作物への愛着や収穫への期待感を持ち、振り返りに意欲が表れている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1

2 学 期	「野菜の生育特性と栽培環境の調節技術」 【知識及び技術】 - 野菜の生育に影響する環境要因（光・温度・水・空気・養分）について理解し、それらを調節する基本的な技術や資材の使い方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 栽培中の野菜の生育状況を観察・記録し、環境条件との関係を考察したうえで、適切な管理方法を自ら考えて提案・実行することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 野菜の健全な生育に向けて環境を整えることの重要性を理解し、主体的に栽培管理に取り組むとともに、協力して環境づくりを行おうとする態度を身に付けている。	① 野菜の生育と生活環境 - 発芽、生育、開花・結実といった各成長ステージの理解 - 発芽温度・生育適温・光周期などの基本的な生育要因 ② 生育に必要な環境要因 - 光・温度・水分・土壌・空気・栄養など各要因の役割と影響 - 不足や過剰が生育に与える影響の事例紹介 ③ 栽培環境の調節方法 - ハウス・トンネルなど施設栽培の概要とメリット - 気温管理（換気・加温・遮光）と湿度管理（かん水・排水） ④ 生育障害とその対策 - 高温障害、徒長、日焼け、根腐れ、養分欠乏などの症状と原因 - 環境条件の把握と調整による予防管理の考え方 ⑤ 栽培条件の最適化と新技術 - スマート農業（環境制御、モニタリング）の基礎知識	【知識及び技術】 - 光合成や蒸散などの生理と生育環境の関係を正しく説明できる。 - 温度・水分・養分などの栽培環境の調節方法（被覆資材、換気、灌水、追肥など）を理解し、適切に使用できる。 - 栽培管理に必要な資材や装置を理解し、安全に取り扱うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 観察記録や温湿度データなどの情報から、生育状況や問題点を分析し、調節すべき環境要素を自ら判断できる。 - 栽培中の課題に対して、適切な対応策を考え、理由や効果も含めて説明できる。 - 生育条件の改善提案や実習レポートなどにおいて、論理的に自分の考えをまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 - 日々の管理を通じて、環境と植物の関係に関心を持ち、改善に主体的に取り組んでいる。 - グループで協力しながら作業を分担し、気象やハウス内環境の変化に応じた柔軟な対応ができています。 - 安全・衛生・資源保全など、持続可能な栽培管理の視点を意識して行動している。	○	○	○	28
	「葉や花茎を利用する野菜の栽培」 【知識及び技術】 - キャベツ、ブロッコリー、ハクサイなどの葉菜類・花菜類の生育特性を理解し、それに応じた適切な栽培管理技術（定植、中耕、追肥、防除など）を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 作物の生育状態や気象条件を観察・記録し、栽培上の課題を見つけて、栽培方法の改善を自ら考え、表現・提案することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 野菜の栽培活動を通じて、農作物を育てる責任感と自然への理解を深め、協力して作業に取り組もうとする姿勢を身に付けている。	① 葉や花茎を利用する野菜の分類と特徴 - 葉菜類・花菜類とは何か、それぞれの可食部と収穫形態 - アブラナ科野菜の共通点（冷涼性・連作障害・病害虫） - キャベツ＝結球菜、ブロッコリー＝花蕾、ハクサイ＝結球菜の違い ④ 定植から栽培管理の実際 - 植え傷みの回避、植え付け間隔と条間の設計 - 中耕・追肥のタイミング（葉の枚数、結球の進行） - ハクサイの包葉形成と結球への管理技術 - ブロッコリーの花蕾肥大の観察と側枝管理 ⑥ 収穫と品質の見極め - キャベツ：結球の締まりと重さで判断 - ブロッコリー：花蕾の開花前、緻密な状態で収穫 - ハクサイ：球の肥大と締まり具合の目視確認 - 切り口処理や保存性を高める工夫	【知識及び技術】 - キャベツ・ブロッコリー・ハクサイの生育段階（結球期、花蕾形成期など）を理解し、栽培管理の内容とその意義を説明できる。 - 整枝・中耕・追肥・防除などの栽培管理を適切な時期に、安全に行うことができる。 - 栽培中の障害（芯どまり・とう立ち・病害虫など）の原因と対処法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 作物の生育状態や環境条件を観察し、問題点を分析・考察できる。 - 異常生育や病害虫の発生時に、その原因や対応方法を記録・報告できる。 - 収穫期や品質を見極める判断ができ、最適なタイミングで管理や収穫を行える。 【学びに向かう力、人間性等】 - 継続的に栽培管理に取り組み、気象や生育状況に応じて責任をもって対応している。 - 班での実習に積極的に参加し、仲間と連携して実習を進めている。 - 栽培の振り返りを通して作物に対する理解・愛着・達成感を深めている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1

	「野菜の品種改良と繁殖」 【知識及び技術】 ・品種改良の目的（品質向上・収量増加・病害虫抵抗性等）と基本的な育種法（交雑育種・戻し交雑・突然変異育種・バイオテクノロジー等）を理解する。 ・野菜の繁殖法（実生繁殖・栄養繁殖）の種類と特徴を説明できる。 ・教科書に記載の主要野菜の繁殖法を分類できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・特定の野菜について、目的に応じた品種改良や繁殖法の選択理由を説明できる。 ・実際の栽培や実習において、適切な繁殖法を考え提案できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・品種改良や繁殖の意義を農業生産に関連づけて考えることができる。 ・授業内容に対して興味関心を持ち、主体的に質問や調べ学習に取り組む姿勢を示す。	① 品種改良の目的と意義 ・野菜の品種改良が目指すもの（品質向上、収量増加、耐病性、早生化など） ・消費者ニーズや栽培環境に応じた品種選定の重要性 ・在来種とF1品種の違いと特徴 ② 育種法の種類と概要 ・交雑育種、戻し交雑育種、突然変異育種、倍数性育種、組換えDNA技術など ・F1種の作出方法とその利点・欠点 ・野菜の品目別に見た代表的な育種法の例（例：トマト、ホウレンソウなど） ③ 遺伝と形質の関係 ・形質の遺伝の基礎（優性・劣性、遺伝子型と表現型） ・育種における形質の固定の考え方 ④ 野菜の繁殖方法の分類 ・実生繁殖（種子繁殖）と栄養繁殖（挿し木、株分け、塊茎など）の違い ・品目別に見た繁殖方法の例（例：種子繁殖＝ニンジン、栄養繁殖＝ジャガイモ） ・栽培目的や環境に応じた繁殖法の選択	【知識及び技術】 育種法と繁殖法を具体例とともに的確に説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や条件に応じて、適切な手法を選択し論理的に説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に参加し、発言・調べ学習・レポートに自主性が見られる。	○	○	○	14	
3学期	「果実を利用する野菜の栽培」 【知識及び技術】 ・果実的野菜（特にイチゴ）の生育特性、品種の特徴、栽培工程（定植、肥培管理、病害虫防除、収穫）について理解し、説明できる。 ・イチゴの栽培における基本的な管理（整枝・摘花・受粉・高設栽培など）を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イチゴ栽培において発生しうる問題（例：病害、生育不良）に対して、適切な管理方法を選び、根拠をもって説明できる。 ・イチゴ栽培と市場出荷の関係について考察し、品質向上に必要な工夫を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習と座学を結びつけ、自分の観察や体験から気づきを得て、学習に積極的に参加する。 ・イチゴをはじめとする果実的野菜の栽培に対し、関心と責任感を持って取り組む。	① 果実的野菜の分類と特徴 ・果実的野菜の定義と分類（ナス科、ウリ科、バラ科など） ・イチゴ、トマト、ピーマン、キュウリなどの特徴と利用部位 ② イチゴの品種と育成形態 ・高設栽培、ベンチ栽培、露地栽培の特徴と利点 ③ イチゴの生育と栽培環境 ・イチゴの生育ステージ（育苗、定植、分枝、開花、結実、収穫） ・適正な温度・湿度・光条件と施設環境制御の重要性 ④ 栽培管理の実際（肥培・整枝・防除） ・元肥と追肥 ・整枝・摘花・受粉・摘果などの管理作業の目的と方法 ・主要病害虫（うどんこ病、灰色かび病、アブラムシなど）の症状と防除法 ⑤ 収穫と品質管理 ・収穫の適期判断と方法 ・果実の糖度・大きさ・色・形などの品質要素 ・収穫後の選別	【知識及び技術】 イチゴの品種、栽培工程、管理技術について正確に理解し、教科書や実習の内容をもとに説明できる。実習での管理（整枝、摘花、防除など）において基本的な技能を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 栽培中の課題や植物の状態を観察し、適切な対応を考え、理由を明確に説明できる。また、市場ニーズに応じた品質管理の必要性を理解し、自ら意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 座学・実習ともに前向きに取り組み、観察記録やレポートを通じて自らの学びを深めようとする姿勢がある。他の生徒と協力しながら責任を持って作業に参加している。	○	○	○		
定期考査				○	○			1 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度(1学年用) 教科

農業

科目 農業と情報

教 科: 農業

科 目: 農業と情報

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 H1 組～ H2 組

教科担当者: (H1組: 片岡・相馬) (H2組: 片岡・相馬) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (「農業と情報」実教出版)

教科 農業

の目標:

【知 識 及 び 技 能】

農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けること。

【思考力、判断力、表現力等】

農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。

【学びに向かう力、人間性等】

職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けること。

科目 農業と情報

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業に関する情報について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けること。	農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 私たちの生活と農業の情報化 【知識・技能】 情報の特徴と性質を理解し、メディアリテラシーについて理解すること。 【思考・判断・表現】 情報化社会の課題を発見し、モラルを守ろうとすること。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業の情報化に必要な技術について自ら学び、必要な技術の収集について主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①情報化社会における私たちの生活 ②情報とメディア ③情報化とモラル ④農業を支える情報 単元テスト ・教材:教科書、パソコン室端末、タブレット端末	【知識・技能】 ・情報の特徴と性質を理解している。 ・メディアリテラシーについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報化社会の課題について考えている。 ・情報化社会におけるモラルについて考え、モラルを守ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・農業の情報化に必要な技術について自ら学ぼうとしている。 ・農業の情報化に必要な技術の収集について主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	第3章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識・技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解し、基本操作と利用方法を身に付けること。 【思考・判断・表現】 正確な情報収集についての課題を発見すること。記録の重要性を理解し、その表現方法を身に付けること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①情報表現のためのソフトウェア ②文書の作成と表現 ③データの集計と視覚化 単元実技テスト ・教材:教科書、副教材、パソコン室端末、タブレット端末	【知識・技能】 ・各種ソフトウェアの特徴と機能を理解する。 ・各種ソフトウェアの基本操作と利用方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・正確な情報収集についての課題について考えている。 ・記録の重要性を理解し、その表現方法を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10

2 学 期	第3章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識・技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解し、基本操作と利用方法を身に付けること。 【思考・判断・表現】 正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けること。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ④データベースシステムとオープンデータ ⑤画像・図形処理ソフトウェアの利用 ⑥プレゼンテーション ⑦情報発信 ⑧問題解決の方法 単元実技テスト ・教材;教科書、副教材、パソコン室端末、タブレット端末	【知識・技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解するとともに、基本操作と利用方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第2章 社会を支えるコンピュータ 【知識・技能】 コンピュータの概要を理解し、情報社会の脅威と情報管理の重要性を理解すること。 【思考・判断・表現】 インターネット検索の課題について考え、データや情報の種類とその表現方法を身に付けること。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報通信ネットワークの仕組みと特徴について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①コンピュータの仕組み ②データや情報の表現 ③情報通信ネットワーク ④インターネットの仕組み ⑤情報セキュリティ 単元テスト ・教材;教科書、パソコン室端末、タブレット端末	【知識・技能】 ・コンピュータの概要を理解している。 ・情報社会の脅威と情報管理の重要性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・インターネット検索の課題について考えている。 ・データや情報の種類とその表現方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報通信ネットワークの仕組みと特徴について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第4章 スマート農業への展望 【知識・技能】 AIやロボットの農業への利用や可能性を考え、スマート農業の仕組みを理解すること。 【思考・判断・表現】 データの重要性や農業情報システムの役割を理解し、本校気象センサの活用方法を身に付けてること。 【主体的に学習に取り組む態度】 人工知能の概要や農業における利用について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①スマート農業のめざす将来 ②システム開発と設計 ③プログラムの設計 ④計測と制御 ⑤リモートセンシングとGIS ⑥人口知能 単元テスト ・教材;教科書、パソコン室端末、タブレット端末、IoT機器(農場)	【知識・技能】 AIやロボットの農業への利用や可能性を考え、スマート農業の仕組みを理解している。 【思考・判断・表現】 データの重要性や農業情報システムの役割を理解するとともに、本校気象センサの活用方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人工知能の概要や農業における利用について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
3 学 期	第5章 農業情報の分析と活用 【知識・理解】 農業情報の様々な収集・分析方法、特にGAPにおける情報の収集・分析方法を理解すること。 【思考・判断・表現】 農業情報の分析方法と活用方法を身に付けること。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業情報の収集・分析・活用に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①農業情報の収集と分析 ②農業生産や経営情報の分析と活用 ③環境に関する情報の分析と活用 ④食品や地域資源に関する情報の分析と活用 単元テスト ・教材;教科書、パソコン室端末、タブレット端末	【知識・理解】 農業情報の様々な収集・分析方法、特にGAPにおける情報の収集・分析方法について理解している。 【思考・判断・表現】 農業情報の分析方法と活用方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業情報の収集・分析・活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第6章 農業学習と情報活用 【知識・理解】 農業学習の特徴とプロジェクト学習について理解すること。 【思考・判断・表現】 栽培プロジェクトで得られたデータを各種ソフトウェアを活用して分析し、まとめる方法を身に付けること。 【主体的に学習に取り組む態度】 プロジェクト学習の進め方を理解し主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①農業学習とプロジェクト学習 ②プロジェクト発表と情報発信 ③データの視覚化と分析 単元テスト ・教材;教科書、パソコン室端末、タブレット端末	【知識・理解】 農業学習の特徴とプロジェクト学習について理解している。 【思考・判断・表現】 栽培プロジェクトで得られたデータを各種ソフトウェアを活用して分析し、まとめる方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 プロジェクト学習の進め方を理解し主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
						合計	
							70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 農業 科目 盆栽と古典

教 科： 農業 科 目： 盆栽と古典 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 H1 組 H2 組 組 組

教科担当者：（ H1 組： 相馬・片柳 ）
（ H2 組： 相馬・片柳 ）
（ 0 組： ）
（ 0 組： ）

使用教科書：（ なし ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 盆栽と古典 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
盆栽と古典園芸について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 日本の伝統文化である盆栽・古典園芸について理解を深めると共に、管理知識などを身に付ける。	盆栽と古典園芸に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 特に日本特有の盆栽と古典園芸植物の管理作業を通して盆栽の伝統を継ぎ、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	盆栽と古典園芸について樹木の栽培・管理に活用できるよう自ら学び、日本の伝統文化である盆栽や古典園芸で取り扱う植物の管理や発展に携わる者として様々な場面において、適切な思考判断できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「総論」 【知識及び技術】 盆栽と古典園芸について理解すると共に管理知識などを身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 管理作業を通して盆栽と古典園芸の時代背景を学び、自ら盆栽作成する際に活用する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の伝統文化である盆栽と古典園芸について学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	【指導事項】 ①盆栽総論 ②懸崖菊の基礎・鉢替え ③雑木類の管理・さつき盆栽花後の手入れ ④松柏盆栽の鉢替え ⑤黒松単葉法 【指導内容】 ①盆栽、懸崖菊を理解させる。（知識、理解） ・盆栽、懸崖菊の種類を理解させる。（知識、思考、表現） ・盆栽の使用道具・資材について ②盆栽の管理方法について 【教材】 ①盆栽園場内の盆栽や道具 ②タブレットを活用する。	【知識・技術】 ①使用道具・管理について理解している。（レポート、課題、考査） ②実習において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習内容に適する道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（実技考査） 【思考・判断・表現】 盆栽・古典園芸に関する ①資材の特色・役割についてわかりやすくまとめ、かつ説明できる。（レポート、課題） ②課題を発見し、情報収集して解決できる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ考察し、自らの考えを表現できる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 盆栽・資材に関心をもち ①積極的に実習に参加している。（観察） ②積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）「知識・技術」	○	○	○	30
	定期考査						

2 学 期	【各論】 【知識及び技能】 ①盆栽に重要な盆器の種類についても理解し、調査するとともに観賞する知識・技術を身に付けている。 また、作品を作成することでより理解を深める。 ②懸崖菊について鑑賞に値する製作技術を習得するとともに、観察できる力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な観点から貴重な盆器から量産品まで様々な盆器を理解し適切なものを選び植物と合わせることが身に付けている。また、自ら作品を作成する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史ある貴重な盆器から量産品まで様々な盆器を自ら学び主体的、協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①盆器 ②盆栽について ・雑木盆栽針金掛け ・雑木盆栽植替え ・病害虫防除 ③懸崖菊について ・懸崖菊止め摘み ・懸崖菊仕上げと展示 【教材】 ①盆器・盆栽資材・懸崖菊 ②タブレットを活用する。「指導事項」	【知識・技術】 ①盆器・盆栽・懸崖菊の特色・役割を理解している（レポート・課題、考查） ②実習場において適切な道具・資材を選定し使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④指導事項の内容を理解している。（実技考查） 【思考・判断・表現】 ①盆器・盆栽・懸崖菊の特色・役割についてわかりやすくまとめ、説明できる。（レポート・課題、考查） ②盆器・盆栽・懸崖菊の課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート・課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 盆栽・懸崖菊に関心をもち ①積極的に実習に参加している。（観察） ②積極的に情報を収集して記述している。（レポート・課題） ③実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	60
	定期考査						
3 学 期	【冬季管理】「盆栽作成」 【知識及び技能】 盆栽では季節に応じて管理の留意点が異なることを理解し、その知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な種類の盆栽と触れることで、それぞれの課題を発見するとともに合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な種類の盆栽の栽培管理を通して、植物を使用して自己表現・デザイン性などを自ら学び、取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①冬季管理 ②松柏針金掛け 【教材】 ①盆栽園場内の盆栽 ②盆栽資材	【知識・技能】 ①盆栽の管理について理解している。（レポート・課題） ②松柏の針金掛けを通して盆栽に対する技術を理解している。（レポート・課題） ③指導事項の内容を理解している。（実技考查） 【思考・判断・表現】 ①種類や季節によって盆栽の管理方法には違いがあり、留意点から判断し、自らの考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 種類や季節で異なる盆栽の管理に関心をもち、 ①積極的に実習に参加している。（観察） ②積極的に情報を収集してレポートに記述している。（レポート・課題） ③調査記録をタブレットを活用して記録している。（レポート・課題）	○	○	○	15
	定期考査						合計 105

高等学校 令和7年度（ 学年用） 教科 農業 科目 草花

教科： 農業 科目： 草花 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 2 組

教科担当者： (H1組：池上・山口 (H2組：池上・山口

使用教科書： (草花 (実教出版))

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けること。
- 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むこと。

科目 草花 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識と技術を身に付けること。	草花の生産と経営に関する課題を発見すること。農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。	草花の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学ぶこと。農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・草花の種類（園芸的分類）を理解する。 ・種子繁殖と栄養繁殖の違いと特徴を理解し、それぞれの栽培技術を身に付ける。 ・草花の栽培管理に必要な用土・肥料とその扱い方を身に付ける。 ・草花の生育と環境について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・草花の種類による栽培方法について考え工夫して実践することができる。 ・草花の生産方法について課題を発見することができる。 ・草花の種類と性質・用途について工夫して表現することができる。草花の栽培管理について自ら説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産と利用方法について自ら学び、課題を発見しようとしている。 ・草花栽培における基礎的な知識と技術を自ら身に付けようとしている。	第3章 草花の特性と栽培技術 (1) 草花の生育と環境 (3) 草花の生育と栽培技術 【指導事項】 ①草花の分類 ②種子繁殖と栄養繁殖 ③草花の品種改良 ④草花の生育と環境 ⑤草花の生育と栽培技術 【教材】 ・教科書 ◇春まき一年草 ・マリーゴールド ・サルビア ・ニチヤソウ ・ジニア ・センダングサ ◇小ギク ◇バラ	【知識・技術】 期末考査 【思考・判断・表現】 実習レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、課題の提出状況	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1

2 学 期	【知識および技能】 - 鉢物の栽培管理について理解し、栽培管理技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 - 鉢物の栽培について課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 鉢物の栽培に関する知識と技術を自ら身に付けようとしている。	第5章 鉢物生産 【指導事項】 ◇プリムラ類 ①品種と分類 ②栽培管理方法 ◇キク（小ギク） ①品種と分類 ②栽培管理方法 ③販売準備・販売、展示 ◇バラ ①秋季剪定 ②施肥管理 ◇秋植え球根 ①分類 ②栽培管理方法 【教材】 ・教科書 ◇プリムラ類 ・プリムラ ポリアンサ ・プリムラ マラコイデス ・プリムラ オブコニカ ◇キク ◇バラ ◇秋植え球根 ・チューリップ ・アネモネ ・ラナンキュラス ・クロッカス ・ユリ	【知識・技術】 期末考査 【思考・判断・表現】 実習レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、課題の提出状況					30
	定期考査				○	○	○	1
3 学 期	【知識および技能】 - 草花の品種と品種改良の方法を理解している。 - 草花の繁殖方法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 草花の品種改良と繁殖について課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 草花の品種改良と繁殖に関する知識を自ら身に付け、課題を発見しようとしている。	第3章草花の特性と栽培技術 (2) 品種改良と繁殖 【指導事項】 ・ニホンサクラソウ、キク、バラの繁殖方法 ・ニホンサクラソウの品種改良技術 ・キクの品種改良技術 ・バラの品種改良の歴史と方法 【教材】 ・教科書 ・ニホンサクラソウ ・キク ・バラ	【知識・技術】 期末考査 【思考・判断・表現】 実習レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、課題の提出状況					14
	定期考査				○	○	○	1
							合計	70

高等学校 令和7年度（3学年）教科
教 科： 農業 科 目： 植物バイオテクノロジー 単位数： 4 単位
対象学年組：第 3 学年 H1 組～ H2 組
教科担当者：（相馬、片柳）
使用教科書：（植物バイオテクノロジー（実教出版））

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解し、関連する知識・技術を身に付けること。

【思考力、判断力、表現力等】植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。

職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢

【学びに向かう力、人間性等】献に主体的かつ協働的に取り組むこと。

科目 植物バイオテクノロジー の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識と技術を身に付けること。	植物バイオテクノロジーに関する課題を発見すること。農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。	植物バイオテクノロジーが生産性や品質の向上経営発展へつながるよう自ら学ぶこと。農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・培地の種類と役割を理解し、目的に応じた培地を作成出来るようにする。 ・ランの無菌播種、培養、順化を行うことが出来る。 ・目的に応じて植物ホルモンを活用した培地作りが出来る。 ・器官培養、茎頂培養を行うことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じた培地を作成出来る。 ・ランの無菌播種、培養、順化を理解し技術を身に付ける。 ・植物ホルモンの種類と働きについて理解し、目的に応じた使い方が出来るようにする。 ・器官培養、茎頂培養を理解し、技術を身に着ける。 定期考査	第3章 植物組織培養の基礎 第4章 植物組織培養の実際 (2)組織培養の方法 (1)ラン類の播種と培養 【指導事項】 ①培地の組成と調整 ②無菌操作 ③サギソウ無菌播種と培養、順化 ④アスパラガス茎頂培養 【教材】 ・教科書 ◇茎頂培養 ・アスパラガス	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 実習レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、課題の提出状況				52
				○	○		1

2 学 期	【知識および技能】 ・花卉培養、器官培養について理解し、それぞれに適した培地を作成、培養方法を判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・花卉培養、器官培養に適した培地を作成できる。培養を正確に出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・植物の培養に関する知識と技術を自ら身に付けようとしている。	第4章 植物の組織培養 (3)組織片の培養 【指導事項】 ①花卉培養 ②器官培養 【教材】 ・教科書 ◇ユリ ◇セントポーリア、ニンジン	【知識・技能】 期末考査 【思考・判断・表現】 実習レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、課題の提出状況	○	○	○	65
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【知識および技能】 ・DNAについて理解し、抽出することが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・DNAについて判定することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・DNAの判定と抽出に関する知識を自ら身に付け、課題を発見しようとしている。	第5章 (1)細胞融合 【指導事項】 ・DNAについて ・細胞融合について 【教材】 ・教科書 ・バナナ	【知識・技能】 期末考査 【思考・判断・表現】 実習レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、課題の提出状況	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

農業 科目 野菜基礎

教科： 農業

科目： 野菜基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H1 組 H2 組 F 組 A 組

教科担当者：（ H1 組 ： 七日市 ）
 （ H2 組 ： 七日市 ）
 （ F 組 ： 七日市 ）
 （ A 組 ： 七日市 ）

使用教科書：（ なし ）

教科 農業 の目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、知識を深める。これまでの学びを活かし、自分たちで計画して栽培することで、自信につなげる。

【知識及び技術】 野菜栽培について体系的・系統的に理解するとともに、栽培技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 野菜栽培に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 豊かな人間性を育み、野菜栽培を自ら学び、主体的かつ強力的に取り組む態度を養う。

科目 野菜基礎 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
野菜栽培を体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	野菜栽培に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	野菜栽培を通して、自ら学び、協力的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	夏野菜の栽培 ○夏野菜を分類し、季節に合った作物を選定、栽培方法を学ぶ。 ○播種の方法、植え付けの方法を理解させる。 ○安全な野菜生産のために、多くの取り組みが必要であり、それが重要であることを理解させる。	1 野菜の種類と利用 2 野菜栽培の方法と供給 3 野菜の安全性	【知】分類方法が理解できて、いろいろな野菜を分類し、栽培方法を学べたか。 安全・安心な野菜の生産には、さまざまな方法があることが理解できたか。 【思】野菜を分類することが、栽培や利用の面でどのような利点があるのか考えることができる。 野菜を栽培することが、圃場の周りの環境や景観にどのような影響を与えるかを考えられる。 【態】野菜の種類と分類に関心をもって、理解しようとしたか。 原産地や来歴、利用の仕方などにも興味を持ち、調べようとしたか。 安全・安心な野菜の生産方法などについて関心をもったか。	○	○	○	16
	座学 ○栽培作物についての知識を深める。 ○栽培作物の生育・栽培方法・害虫・留意点など、実践で使える知識を習得させる。	1 野菜の分類と利用 2 野菜の栽培	【知】分類方法が理解できて、いろいろな野菜を分類し、栽培方法を学べたか。 安全・安心な野菜の生産には、さまざまな方法があることが理解できたか。 【思】野菜を分類することが、栽培や利用の面でどのような利点があるのか考えることができる。 野菜を栽培することが、圃場の周りの環境や景観にどのような影響を与えるかを考えられる。 【態】野菜の種類と分類に関心をもって、理解しようとしたか。 原産地や来歴、利用の仕方などにも興味を持ち、調べようとしたか。 安全・安心な野菜の生産方法などについて関心をもったか。				10

秋・冬野菜の栽培 ○秋作・冬作の栽培作物を選定する。 ○キャベツ、ブロッコリー、ハクサイの発芽・生育に適した温度・光・土壌などの条件を学び、栽培に活用できるようにする。 ○花芽分化させないものと、させるものの生理機序や管理の違いを理解させる。 ○冷涼な気候を好み、高温で開花しやすいことを理解させ、季節によって産地が大きく異なる理由も考えさせる。	1 野菜の種類と利用 2 野菜栽培の方法と供給 3 果菜類・葉菜類・根菜類の特徴	【知】品種の選定から、種まき、定植、適期収穫、病害虫の防除、肥培管理などが的確に行えたか。 病害虫や生理障害を的確に観察できたか。 生育に適する温度・光・水分などの環境条件や花芽分化などを理解し、栽培管理のポイントについて体験を通して理解できたか。 【思】品種の選定から、栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということ、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。 作型が現在のように分化してきた理由を考えることができたか。 栽培の評価が理論的に行えたか。 【態】教材として取り上げた葉菜類・根菜類の特性を理解しようとしたか。 選定作物に対し、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。	○	○	○	20
座学 ○栽培作物についての知識を深める。 ○栽培作物の生育・栽培方法・害虫・留意点など、実践で使える知識を習得させる	1 葉菜類 2 根菜類	【知】品種の選定から、種まき、定植、適期収穫、病害虫の防除、肥培管理などが的確に行えたか。 病害虫や生理障害を的確に観察できたか。 生育に適する温度・光・水分などの環境条件や花芽分化などを理解し、栽培管理のポイントについて体験を通して理解できたか。 【思】品種の選定から、栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということ、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。 作型が現在のように分化してきた理由を考えることができたか。 栽培の評価が理論的に行えたか。 【態】教材として取り上げた葉菜類・根菜類の特性を理解しようとしたか。 選定作物に対し、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。	○	○	○	10
冬の畑管理 ○年間の栽培を終えた土地への正しい対応を理解し、技術を習得させる。	1 片付け 2 お礼肥え	【知】野菜の栽培後の管理を正しく理解できたか。 【思】作物栽培における次年度の準備などを考え正しく行動できたか 【態】年間栽培後の畑に関心を持ち、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。 実践課題について、問題や課題を積極的に見だし、意欲的に取り組んだか。	○	○	○	2
座学 ○年間の栽培を終えた土地への正しい対応を理解し、技術を習得させる。	1 片付け 2 お礼肥え	【知】野菜の栽培後の管理を正しく理解できたか。 【思】作物栽培における次年度の準備などを考え正しく行動できたか 【態】年間栽培後の畑に関心を持ち、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。 実践課題について、問題や課題を積極的に見だし、意欲的に取り組んだか。				12
						合計
						70

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 農業 科目 課題研究

單位數： 2 單位

組

水上)

)

の目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活躍し、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

科目 課題研究 の目標： 生徒自身の思考力・判断力・表現力等の能力を育むとともに、言語活動の充実をはかる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業の意義や役割を理解し、問題解決能力等を育成する為に、プレゼンテーションの基礎的な知識・技術を身に付け、データをまとめる事ができる。	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な技術を基に農業に携わるものとして適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	農業(食品)に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識・技術】 研究課題について正しく理解し、課題の解決に必要な知識・技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力】 研究課題の解決に必要な知識・技術を論理的に実践し、記録する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業に関して自らテーマを設定し、その課題や改善点を探し解決しようとする意欲的な態度を養う。	①研究課題の設定 ②研究計画の立案 ③調査研究 ④実験調査 ⑤資格取得	【知識・技術】 ・研究課題について正しく理解している。 ・研究課題の解決に必要な実験・製造技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力】 ・研究課題の解決に必要な知識・技術を論理的に実践することができる。 ・実験・実習の記録を報告書（レポート）にまとめ発表（中間報告）できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・研究課題について関心を持ち、その改善と向上を目指している。 ・研究活動を計画的に実施している。 ・自らテーマを設定し、それについて課題や改善点を探す力をつける。	○	○	○	20
2 学 期	【知識・技術】 研究課題について正しく理解し、課題の解決に必要な知識・技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力】 研究課題の解決に必要な知識・技術を論理的に実践し、記録する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業に関して自らテーマを設定し、その課題や改善点を探し解決しようとする意欲的な態度を養う。	①調査研究 ②実験調査 ③資格取得 ④発表資料の作成	【知識・技術】 ・研究課題について十分に理解している。 ・研究課題の解決に必要な知識と技術を身につけ、研究の結果を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・研究課題の解決に必要な知識と技術を論理的に実践することができる。 ・研究の記録を記載した報告書（日報）から発表資料を作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・研究課題について関心を持ち、その改善及び向上を目指している。 ・研究活動を計画的に継続している。 ・自らテーマを設定し、それについて課題や改善点を探し、研究方法の改善を継続している。	○	○	○	40
3 学 期	【知識及び技能】 研究課題についての深い知識を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力】 研究課題の解決に必要な知識・技術を論理的に実践・記録し、発表する力を身につけさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題研究発表会の資料作り、発表活動に意欲的に取り組む態度を養う。	①発表資料の作成 ②課題研究発表会	【知識・技術】 ・研究課題について深く理解している。 ・研究課題の解決に必要な知識と技術を身につけ、研究の十分な成果を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・研究活動の経過と結論が十分に記載された発表資料作成と発表活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らテーマを設定し、それについて課題や改善点を探し、研究方法の継続に取り組んでいる。	○	○	○	10
							合計
							70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 農業 科目 野菜と果樹

教科： 農業 科 目： 野菜と果樹 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 H1 組～ H2 組

教科担当者：（H1組： 福重・遠藤 ） （H2組： 福重・遠藤 ）

使用教科書：（ 実教出版 「果樹」 「野菜」 ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 野菜と果樹 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
野菜・果樹の観察を通して、体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付ける。特に環境社会の担い手として、環境負荷を抑制する社会の在り方について考察する。	野菜・果樹の観察を通して、考察力、分析力を育み、データ化の手法を習得し、スマート農業への取り組みを主体的かつ協働的に取り組む態度を身につける。	野菜・果樹の授業を通して育んだ観察力や分析力で、社会が直面している環境問題について、個人、集団として積極的に取り組む基礎的な態度を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 【知識及び技術】 野菜・果樹の特性を理解し、他者と協力しながら、栽培管理の知識と技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜・果樹の春夏に関する栽培管理について課題を発見し、合理的かつ創造的に他者と課題解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 野菜・果樹の春夏栽培における情報や技術の収集につて、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	「野菜」 ①栽培計画と農場計画の立て方について ②果菜類の地這栽培における仕立て方について ③野菜の特性を生かした混合栽培について 「果樹」 ①着花の特徴を摘花 ②摘果の方法と役割 ③夏枝の剪定と誘引 【教材】 ①実教出版「野菜」「果樹」 ②タブレットを活用する。	【知識・技術】 ①野菜・果樹の特性と栽培管理を理解している（レポート、課題、考査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①野菜・果樹の栽培管理について、その特性を理解し、各管理方法について、わかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②野菜・果樹の栽培管理における課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ、結果を考察し、自分の考えを表現できる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①野菜・果樹に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②野菜・果樹に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③野菜・果樹の授業で、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	38
	定期考査			○	○		1

2 学 期	【知識及び技能】 野菜・果樹の秋の栽培管理について自ら計画し、理解するとともに、管理・調査する知識・技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜・果樹の秋管理に関する課題を個々で発見し、課題について相互で持ち寄り、合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 野菜・果樹の秋管理について情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	【指導事項】 ①施肥管理 ②害虫防除 【教材】 ①実教出版「野菜」「果樹」 ②タブレットを活用する。	【知識・技能】 ①野菜・果樹の生育で、施肥の方法と効果を理解している（レポート・課題、考査） ②実習場面で適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①秋の栽培管理について、わかりやすくまとめ、説明できる。（レポート・課題、考査） ②秋の栽培管理の課題を発見し、情報収集し解決できる。（レポート・課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①秋の栽培管理の方法について関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②秋の栽培管理の方法について関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート・課題） ③秋の栽培管理の方法について関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	41
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 野菜・果樹の冬季管理について理解するとともに、管理手法について知識・技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜・果樹の冬季管理方法について記録をまとめ、冬季の栽培管理の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 年間を通じての栽培管理について情報や技術を収集データ化し、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	【指導事項】 ①プロジェクト学習課題設定 ②プロジェクト学習課題解決 ③プロジェクト発表 【教材】 ①実教出版「野菜」「果樹」 ②タブレットを活用する。	【知識・技能】 ①プロジェクト学習の意義を理解している。（レポート・課題） ②プロジェクト学習の進め方を理解している。（レポート・課題） ③各指導事項を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①プロジェクト学習の調査記録をまとめ、結果を考察し、自分の考えを表現できる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①プロジェクト学習に関積極的に実習に参加している。（観察） ②プロジェクト学習に積極的に情報を収集し、記録している。（レポート・課題） ③プロジェクト学習に関心をもち、調査記録をタブレットを活用して記録している。（レポート・課題）	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 105

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 農業 科目 草花

教科： 農業 科目： 草花 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 学年 組～ 組

教科担当者： （H1組：池上・山口 （H2組：池上・山口

使用教科書： （ 草花（実教出版） ）

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けること。
- 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。
- 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献【学びに向かう力、人間性等】献に主体的かつ協働的に取り組むこと。

科目 草花 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識と技術を身に付けること。	草花の生産と経営に関する課題を発見すること。農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。	草花の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学ぶこと。農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・草花の種類（園芸的分類）を理解する。 ・種子繁殖と栄養繁殖の違いと特徴を理解し、それぞれの栽培技術を身に付ける。 ・草花の栽培管理に必要な用土・肥料とその扱い方を身に付ける。 ・草花の生育と環境について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・草花の種類による栽培方法について考え工夫して実践することができる。 ・草花の生産方法について課題を発見することができる。 ・草花の種類と性質・用途について工夫して表現することができる。草花の栽培管理について自ら説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産と利用方法について自ら学び、課題を発見しようとしている。 ・草花栽培における基礎的な知識と技術を自ら身に付けようとしている。	第3章 草花の特性と栽培技術 (1) 草花の生育と環境 (3) 草花の生育と栽培技術 【指導事項】 ①草花の分類 ②種子繁殖と栄養繁殖 ③草花の品種改良 ④草花の生育と環境 ⑤草花の生育と栽培技術 【教材】 ・教科書 ◇春まき一年草 ・マリーゴールド ・サルビア ・ニチソウ ・ジニア ・センシティブ ◇小ギク ◇バラ	【知識・技術】 期末考査 【思考・判断・表現】 実習レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、課題の提出状況	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1

2 学 期	【知識および技能】 - 鉢物の栽培管理について理解し、栽培管理技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 - 鉢物の栽培について課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 鉢物の栽培に関する知識と技術を自ら身に付けようとしている。	第5章 鉢物生産 【指導事項】 ◇プリムラ類 ①品種と分類 ②栽培管理方法 ◇キク（小ギク） ①品種と分類 ②栽培管理方法 ③販売準備・販売、展示 ◇バラ ①秋季剪定 ②施肥管理 ◇秋植え球根 ①分類 ②栽培管理方法 【教材】 - 教科書 ◇プリムラ類 - プリムラ ポリアンサ - プリムラ マラコイデス - プリムラ オブコニカ ◇キク ◇バラ ◇秋植え球根 - チューリップ - アネモネ - ラナンキュラス - クロッカス - ユリ	【知識・技術】 期末考査 【思考・判断・表現】 実習レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、課題の提出状況	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【知識および技能】 - 草花の品種と品種改良の方法を理解している。 - 草花の繁殖方法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 草花の品種改良と繁殖について課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 草花の品種改良と繁殖に関する知識を自ら身に付け、課題を発見しようとしている。	第3章草花の特性と栽培技術 (2)品種改良と繁殖 【指導事項】 - ニホンサクラソウ、キク、バラの繁殖方法 - ニホンサクラソウの品種改良技術 - キクの品種改良技術 - バラの品種改良の歴史と方法 【教材】 - 教科書 - ニホンサクラソウ - キク - バラ	【知識・技術】 期末考査 【思考・判断・表現】 実習レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、課題の提出状況	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 造園と盆栽

教科： 農業 科目： 造園と盆栽 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 H1 組 H2 組 組 組

教科担当者： (H1 組 : 片岡、高尾)
(H2 組 : 片岡、高尾)
(0 組 :)
(0 組 :)

使用教科書： ()

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 造園および盆栽について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 造園および盆栽に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 栽培と環境	目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
造園：造園（緑化材料）について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 盆栽：日本の伝統文化である盆栽について理解を深めると共に、管理知識などを身に付ける。	造園：造園（緑化材料）に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 盆栽：日本特有の盆栽の管理作業を通して盆栽の伝統を慮り、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】	造園：造園（緑化材料）について樹木の栽培・管理に応用できるよう自ら学び、緑地環境の向上や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 盆栽：日本の伝統文化である盆栽の管理や発展に携わる者として様々な場面において、適切な思考判断できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	盆栽単元「盆栽とは」 【知識及び技術】初めて触れる教科である盆栽について理解すると共に管理知識などを身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】管理作業を通して盆栽の時代背景を学び、自ら盆栽作成する際に活用する力を身に付ける。【学びに向かう力、人間性等】日本の伝統文化である盆栽について学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	【指導事項】 ①盆栽の使用道具・資材について ②盆栽の管理方法について 【教材】 ①盆栽圃場内の盆栽や道具 ②タブレットを活用する。	【知識・技術】 ①使用道具・管理について理解している（レポート、課題、考查） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考查） 【思考・判断・表現】 ①盆栽・資材の特色・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考查） ②盆栽・資材の課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①盆栽・資材に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②盆栽・資材に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③盆栽・資材に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）「知識・技術」	○	○	○	13
	造園単元「環境緑化材料の特色と役割」 【知識及び技術】環境緑化材料の特色と役割について理解するとともに、植栽管理知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】環境緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】環境緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①環境緑化材料の特色 ②環境緑化材料の役割 【教材】 ①タブレットを活用する。	【知識・技術】 ①緑化材料の特色・役割を理解している（レポート、課題、考查） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考查） 【思考・判断・表現】 ①緑化材料の特色・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考查） ②環境緑化材料の課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①環境緑化材料に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②環境緑化材料に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③環境緑化材料に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	14
	定期考查			○	○		1

2 学 期	盆栽単元「盆栽作成」 【知識及び技能】 大きい盆栽と小さい盆栽では管理の留意点が異なることを理解し、その知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な大きさの盆栽と触れることでそれぞれの課題を発見するとともに合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な大きさの盆栽の栽培管理を通して、植物を使用して自己表現・デザイン性などを自ら学び、取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 【指導事項】 ①盆栽の鉢替え ②ミニ盆栽の作成 【教材】 ①盆栽圃場内の盆栽・資材 ②校内自生植物・盆栽資材	【知識・技能】 ①盆栽の植え替えについて理解している。（レポート・課題） ②自生植物から盆栽にする技術を理解している。（レポート・課題） ③各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①大きさによって盆栽の植え方に違いがあり、留意点が違うことを考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①大きさの違う盆栽の管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②大きさの違う盆栽の管理に関心をもち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。（レポート・課題） ③大きさの違う盆栽の管理に関心をもち、調査記録をタブレットを活用して記録している。（レポート・課題）				12
	造園単元「木材・竹材」 【知識及び技能】 材料について理解するとともに、管理・調査する知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①木材と竹材の特性について学ぶ ②竹垣の施工 【教材】 ①タブレットを活用する。	【知識・技術】 ①材料の特色・役割を理解している（レポート、課題、考査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①材料の特色・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②材料の課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①材料に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②材料に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③材料に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

	盆栽単元「盆器・盆栽について」 【知識及び技能】 植物だけでなく重要な資材である盆器の種類について理解し、調査するとともに自分で盆栽作成する知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史ある貴重な盆器から量産品まで様々な盆器を理解し適切なものを選び植物と合わせることを身に付けている。また、自ら植物を組み合わせ盆栽を作成する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史ある貴重な盆器から量産品まで様々な盆器を自ら学び主体的、協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①盆器 ②石付盆栽について 【教材】 ①盆器・盆栽資材 ②タブレットを活用する。「指導事項」	【知識・技術】 ①盆器・盆栽の特色・役割を理解している（レポート、課題、考査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①盆器・盆栽の特色・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②盆器・盆栽の課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①盆器・盆栽に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②盆器・盆栽に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③盆器・盆栽に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）			8	
3 学 期	造園単元「モルタル・セメント・コンクリートについて」 【知識及び技能】 環境緑化材料について理解するとともに、調査する知識・技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 素材の特性を理解し、適切な水分量や型枠のサイズを導き出すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い作品を目指し、協働的に取り組むことができる。	【指導事項】 ①モルタル等の特性について学ぶ ②モルタルの施工を行う 【教材】 ①タブレットを活用する。	【知識・技術】 ①材料の特色・役割を理解している（レポート、課題、考査） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察） ③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート） ④各指導事項の内容を理解している。（考査） 【思考・判断・表現】 ①材料の特色・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査） ②材料の課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題） ③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①材料に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②材料に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題） ③材料に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 農業 科目 農業と環境

教 科： 農業 科 目： 農業と環境 単位数： 4 単位

対象学年組：第 1 学年 H1 組～ H2 組

教科担当者：（H1組：蓮沼、遠藤、山口、常盤、河島 ） （H2組：蓮沼、遠藤、山口、常盤、河島 ）

使用教科書：（ 農業701「農業と環境」実教出版 ）

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ強力的に取り組む態度を養う。

科目 農業と環境 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「農業と環境を学ぶ」 【知識及び技術】 農業と環境の学び方について理解しているとともに、関連する技術を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 農業と環境の学び方について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。	・農業や環境は人間生活の影響を受け、相互に影響し合う関係にあることを理解させる。 ・農業の学び方（プロジェクト学習法）に関心をもち、実践する意欲と態度を身に付けさせる。 ・プロジェクト学習法に関する基礎的な知識を身に付けさせる。 ・学校農業クラブ活動の目標や組織、活動の内容を理解させ、取り組む意欲と態度を身に付けさせる。	【知識及び技術】 農業と環境の学び方および、学校農業クラブについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 農業と環境の学び方および、学校農業クラブについて、主体的、協働的に取り組もうとしている。	○		○	18
	「栽培・飼育と環境のプロジェクト」 【知識及び技術】 農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の栽培するうえで、環境条件や気象条件と関連付けながら考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 プロジェクト学習に主体的・協働的に取り組ませる。	・プロジェクト実施の意義・方法について理解させ、実施に対する興味・関心と意欲を持たせる。 ・プロジェクトを実施するにあたって計画の立て方、農業生産工程管理、栽培・飼育環境の管理と評価について理解させる。 ・環境に関するプロジェクトにおける調査活動やプロジェクトの分野について理解させる。	【知識及び技術】 農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解している。 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 プロジェクト学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	「栽培と利用（果菜類・マメ科野菜・葉根菜類）」 【知識及び技術】 ・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解させる。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組ませる。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組ませる。	・作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身に付けさせ、管理の原理や方法等を理解させる。 ・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するための思考・判断・表現できる力を身に付けさせる。 ・「栽培管理」「生育や生育環境の調査」を適切に実施するとともに、実施結果をまとめ、文書で表現する力を身に付けさせる。 ・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身に付けさせる。	【知識及び技術】 ・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解する。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組む。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1

2 学 期	「栽培・飼育と環境のプロジェクト」 【知識及び技術】 農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の栽培するうえで、環境条件や気象条件と関連付けながら考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 プロジェクト学習に主体的・協働的に取り組ませる。	・プロジェクト実施の意義・方法について理解させ、実施に対する興味・関心と意欲を持たせる。 ・プロジェクトを実施するにあたって計画の立て方、農業生産工程管理、栽培・飼育環境の管理と評価について理解させる。 ・環境に関するプロジェクトにおける調査活動やプロジェクトの分野について理解させる。	【知識及び技術】 農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解している。 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 プロジェクト学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	「栽培と利用（果菜類・マメ科野菜・葉根菜類）」 【知識及び技術】 ・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解させる。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組ませる。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組ませる。	・作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法等を理解させる。 ・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するための思考・判断・表現でできる力を身につけさせる。 ・「栽培管理」「生育や生育環境の調査」を適切に実施するとともに、実施結果をまとめ、文書で表現する力を身につけさせる。 ・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につけさせる。	【知識及び技術】 ・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解する。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組む。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	17
	「栽培と飼育の基礎」 【知識及び技術】 作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決させる。 【学びに向かう力、人間性等】 作物や家畜に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。	・作物や家畜に興味関心を持たせる。 ・作物や家畜の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につけさせる。 ・作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、レポートや発表により表現できるようにする。 ・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけさせるとともに、技術の仕組みを理解させる。	【知識及び技術】 作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 作物や家畜に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	10
	「私たちの暮らしと農業」 【知識及び技術】 私たちの暮らしと農業・農村について理解するとともに、関連する技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 私たちの暮らしと農業・農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決させる。 【学びに向かう力、人間性等】 私たちの暮らしと農業・農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。	・人間と他の生物との関係、農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関係について関心を持ち、探求しようとする意欲と態度を身につけさせる。 ・また、食と農業の現状や動向、課題に関心を持たせ、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身につけさせる。 ・人間と他の生物との関係、環境と農業、生活に関する諸課題の解決を目指し思考を深めさせ、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その課程や結果を適切に表現する力を身につけさせる。 ・食と農業、環境と農業、生活に関する資料や情報を収集し、適切に選択して活用する力を身につけさせる。 ・食と農業、環境と農業、生活に関する基礎的な知識を身につけさせ、農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関係について理解させる。 ・食と農業の動向と課題に関する基礎的な知識を身につけさせ、農業の社会的な役割・環境・暮らしとの関係を理解させる。	【知識及び技術】 私たちの暮らしと農業・農村について理解するとともに、関連する技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 私たちの暮らしと農業・農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 私たちの暮らしと農業・農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

3 学 期	「栽培・飼育と環境のプロジェクト」 【知識及び技術】 農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の栽培するうえで、環境条件や気象条件と関連付けながら考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 プロジェクト学習に主体的・協働的に取り組ませる。	・プロジェクト実施の意義・方法について理解させ、実施に対する興味・関心と意欲を持たせる。 ・プロジェクトを実施するにあたって計画の立て方、農業生産工程管理、栽培・飼育環境の管理と評価について理解させる。 ・環境に関するプロジェクトにおける調査活動やプロジェクトの分野について理解させる。	【知識及び技術】 農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解している。 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 プロジェクト学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	「栽培と利用（果菜類・マメ科野菜・葉根菜類）」 【知識及び技術】 ・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解させる。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組ませる。	・作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法等を理解させる。 ・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するための思考・判断・表現できる力を身につけさせる。 ・「栽培管理」「生育や生育環境の調査」を適切に実施するとともに、実施結果をまとめ、文書で表現する力を身につけさせる。 ・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につけさせる。	【知識及び技術】 ・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解する。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組む。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	11
	「都市緑化の方法と利用」 【知識及び技術】 都市の環境とその調査、改善方法について基礎的な内容を理解するとともに、都市緑化の技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 都市の環境とその調査、改善方法に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組ませる。	・人間生活が環境に影響を与えていることについて理解させ、都市環境の現状を把握させる。 ・都市緑化の技術を身に付けさせる。 ・都市環境の現状把握に基づき、効果的な改善方法を考察し、具体的な活動を実践させる。	【知識及び技術】 都市の環境とその調査、改善方法について基礎的な内容を理解するとともに、都市緑化の技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 都市の環境とその調査、改善方法に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 【学びに向かう力人間性等】 ・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組む。 ・都市の環境とその調査、改善方法について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計
						140	